

実施計画事業名		学校運営事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		教育部 学校教育課		課長(主幹)名	青山 等			
総合計画体系	分野	1	教育・文化					
	政策	2	時代に即した学校教育の推進					
	施策	3	社会の変化に対応した教育環境を整備します					
	関連施策							
現状と課題	学校の運営管理に必要な経費を計画的に予算配置している。また、地域社会に開かれた学校づくりを推進していくため、学校評議員を委嘱し、意見や助言を改善等につなげてきた。							
目的	教育の目標が達成されるよう、必要な学校環境の充実を図る。							
5ヶ年展開の施策	①学校の環境整備その他に従事する学校用務員(非常勤)を配置する。定年退職や任用替えに伴う異動に対して、正職員が不補充のため非常勤の割合が増大する。 ②地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校評議員制度に取り組む。							
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	学校環境衛生検査の結果		件	目標	0	0	0	
説明	学校環境衛生検査での指摘事項			実績	47	51		
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	学校評議員委嘱人数		人	目標	68	68	68	
	説明	各学校の学校評議員の合計人数			実績	70	66	
				目標	-	-	-	
	説明				実績			
				目標	-	-	-	
	説明				実績			
				目標	-	-	-	
説明				実績				
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	179,949	180,660	194,470		
	国庫支出金		千円	0	0			
	道支出金		千円	0	0			
	起債		千円	0	0			
	その他		千円	0	0			
	一般財源		千円	179,949	180,660	194,470		
	この事業にかかる職員数		人/年	2.94	2.77	2.77		
人件費(B)		千円	20,362	18,811	18,811			
計(A+B)		千円	200,311	199,471	213,281			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 学校用務員については、正職員から非常勤職員へ少しずつ移行しているが、今後も業務内容や体制などを検討する必要がある。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>b</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 学校環境衛生検査では施設の老朽化などもあり、例年50件前後の指摘を受けている。その都度、改善を行っているところであるが、今後も引き続き学校環境の整備に努める。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 学校環境の整備や学校用務員(非常勤)の配置、地域に開かれた学校づくりを推進するための学校評議員制度に取り組むなど、教育目標が達成されるよう、引き続き必要な学校環境の充実を図る。

【2次評価】

成 果	<b>b</b>	細事業の構成	<b>a</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--